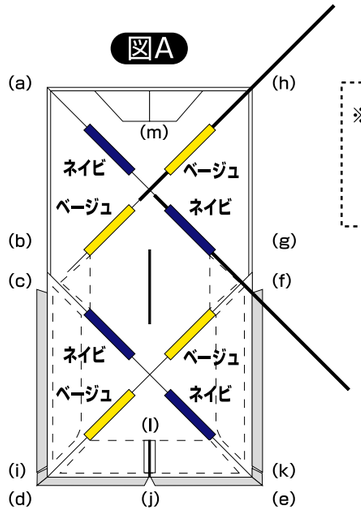
スクリーンドゥーブル　ラルーサ−Z

品番:71800968

設営方法

①設営は必ず二人以上で行なって下さい。(一人で設営するとフレームやテント生地に不要な力が加わり破損等の原因になりますので、ご注意下さい。)
②ショックコードでつながれたフレームをそれぞれ差し込み、組み立てて下さい。
③インナーテントを広げ、組み立てたフレームを図Aのようにインナーテントのスリーブに通して下さい。

図A



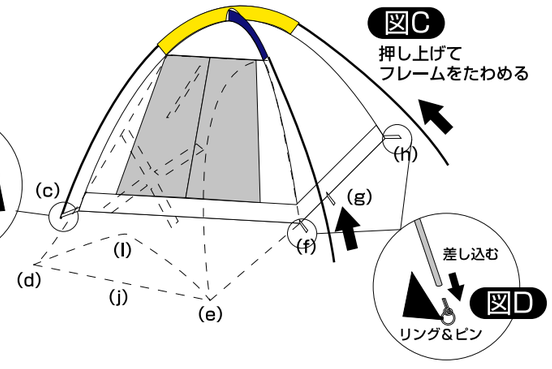
※スリーブはネイビとベージュに色分けしております。
組立てたメインフレーム（ブラック色）を同じ色のスリーブに通して下さい。

フレーム関節部がスリーブに引っ掛かってないかを十分ご確認の上、リングピンに差し込んで下さい。
引っ掛かった状態で無理やり作業を行なった場合、フレームが破損致します。

④2本のフレームの先端をインナーテント(a)、(c)にあるリング&ピンのピン(2本共)に差し込んで下さい。差し込む位置を間違えるとフレームに負担が掛り、破損することが有ります。ご注意下さい。
(図B)

図B

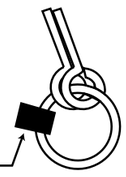
図C



⑤フレームの反対側の先端近くとインナーテントの(h)のリング&ピン付近をしっかりと持ち、フレームを押し上げるようにしてたわめ、(h)のピン(2本共)にフレームの先端を差し込んで下さい。
(図C)(図D)
⑥同様に残りのフレームの先端を(f)のピンに差し込んで下さい。

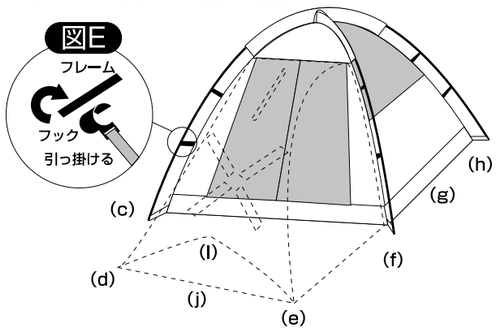
※右図のように、リングピンとテント本体をつなぐベルトがに付いています。このベルトは色分けしております。
上記、ネイビのスリーブに通したフレームは、ネイビ色のベルト、ベージュのスリーブに通したフレームには、ベージュのベルトについたリングピンを各々に差込んで下さい。

【 ネイビ or ベージュ 】



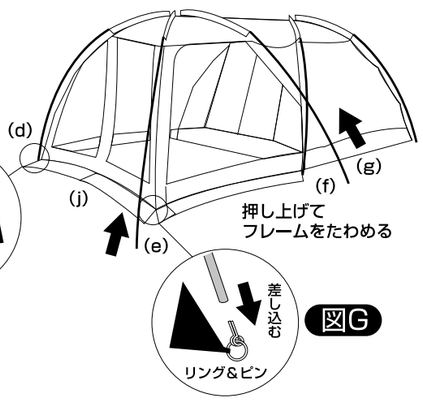
⑦インナーテント側面に付いているプラスチックフックをフレームに引っかけて下さい。(図E)

図E



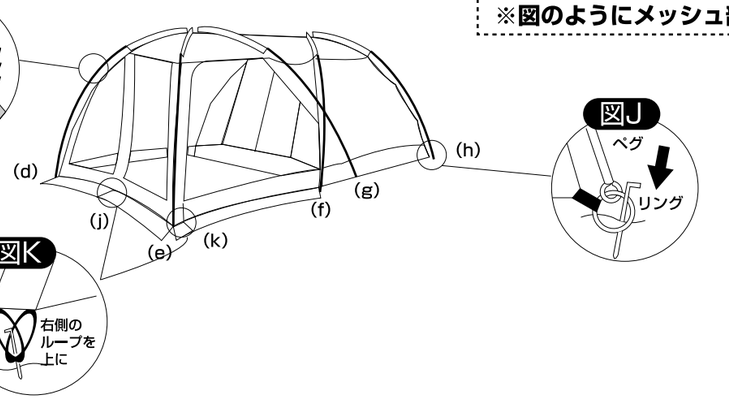
⑧残りのメインフレーム2本を前室部天井のスリーブに通し、④〜⑥同様にして、前室部を立ち上げて下さい。
(図F)、(図G)

図F



⑨前室部側面に付いているプラスチックフックをフレームに引っかけて下さい。
(図H)

図H



図J

図K

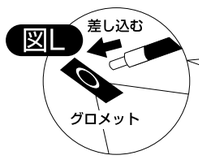
⑩インナーテントの隅(a)〜(h)及び出入口下にあるループ(i)〜(k)にペグを打ちしっかりと固定して　下さい。この時、テントのジッパーはすべて閉めておいて下さい。
(図K)、(図J)

※図のようにメッシュ部分が前（出入口）になります。

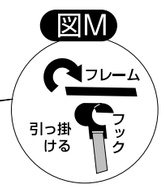
⑪リッジフレームの両端をインナーテントの(l)、(m)に差し込み、前室の天井部のフックをフレームに　引っ掛けて下さい。
(天井部のジッパーを開けて作業して下さい。作業後はジッパーを必ず閉めて下さい。)
(図L)、(図M)

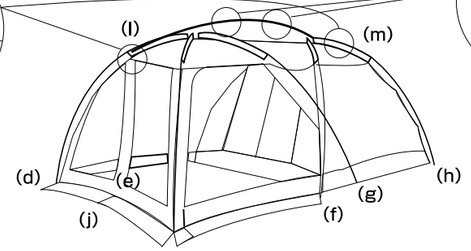
※リッジフレームはグレー色です。

図L



図M





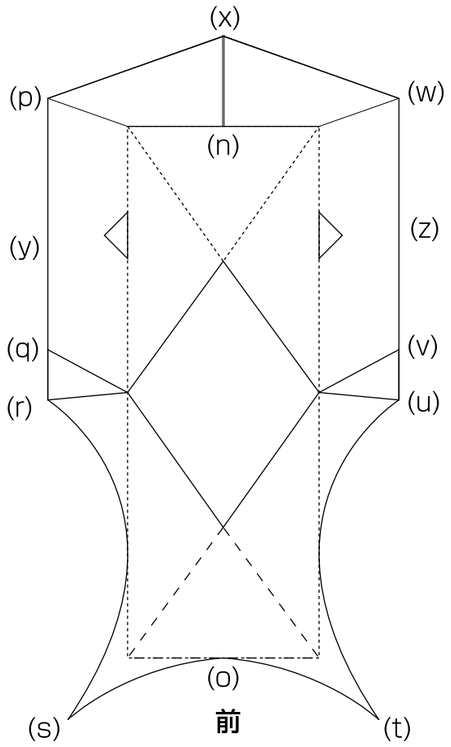
これでインナーテントが立ち上がりました。裏面をご覧下さい。

部品構成表

インナーテント	1張	アクセサリー	ペグ　26本 約2.8mロープ　4本 約5mロープ　6本 （フライシート装着済） ハンマー　1本
フライシート	1張		
グラスファイバーフレーム	メインフレームΦ11mm（黒色627cm×4本） リッジフレームΦ12.7mm（グレー色467cm×1本）		

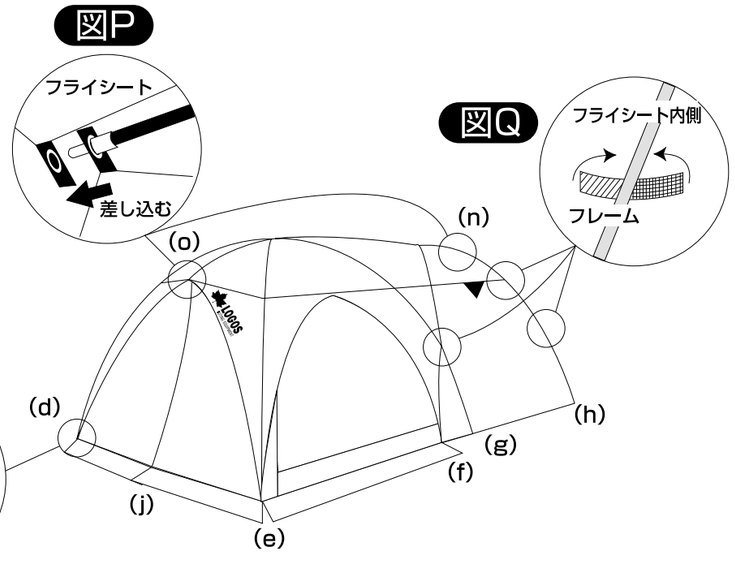
フライシートを被せる。

図N



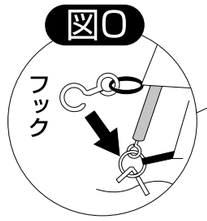
⑫ 図N でフライシートの前後左右を確認した後、②～⑩で建てたインナーテントにかぶせ、(p)～(w)のフックをインナーテントの(a)～(h)にあるリングに引っ掛けて下さい。
⑬フライシート背面のジッパー下に有るリングにペグを打ち固定して下さい。この時ジッパーは閉めた状態にして下さい。
⑭フライシート内側のベルクロ(マジック)テープでフレームとフライシートを固定して下さい。

図P



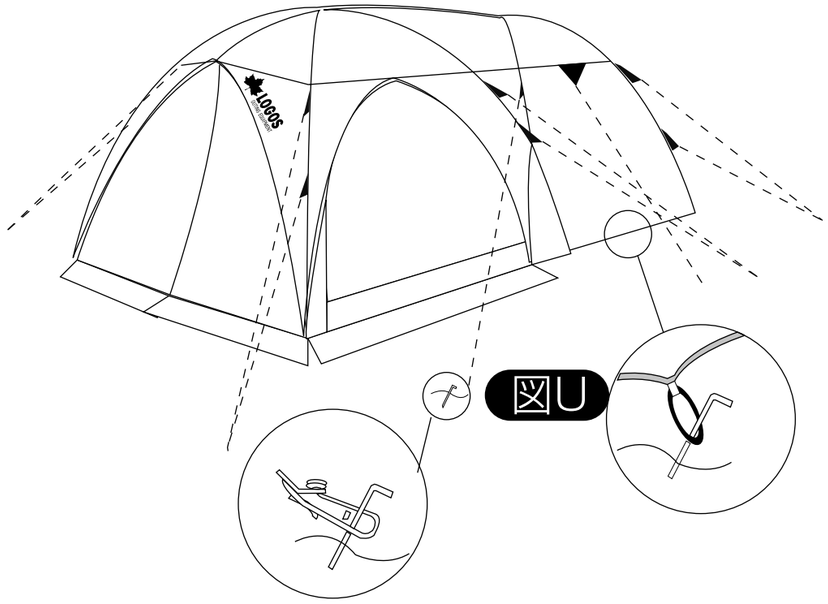
図Q

図O



※フライシートにロゴスマークが付いてる側が前面（出入口）になります。

⑮フライシートにあるロープをペグで固定して下さい。
この作業を怠ると不意の突風によってフレームや生地が破損したり、雨によって雨漏りすることがあります。

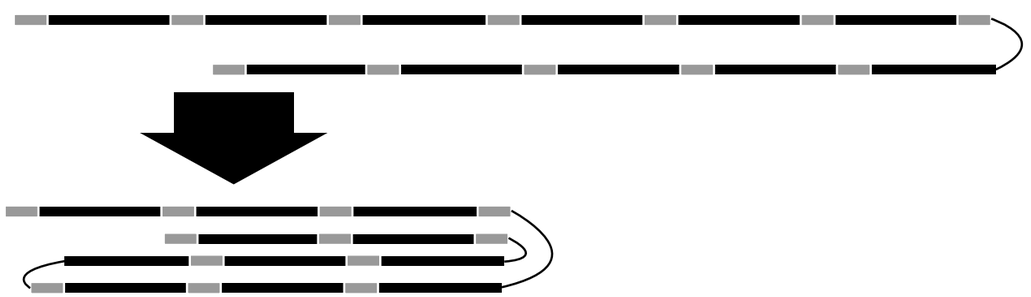


図U

付属のロープとペグで必ずテントを固定して下さい。
悪天候時に破損する恐れがあります。

●フレーム収納方法等について

フレーム内のショックコードに対し均等にテンションを掛ける為、フレーム中央部の接続部分から折りたたんで下さい。片方から折りたたむと最終節のショックコードに極度のテンションが掛かり、切断する恐れがあります。
尚、上記ショックコードは消耗品の為、定期的な交換をお勧めします。また、フレームも消耗品であり、使用頻度・状況により破損する場合があります。万が一の場合に備え、補修用の粘着テープ等もご用意下さい。



●テント収納方法について

インナーテントからフレームを抜き、拡げて下さい。
リビングの屋根部分を寝室側に折りたたんで下さい。
折りたたんだ際にテント内の空気を排出させる為に、天窓並びに出入口のファスナーは、少し開けて下さい。
出入口を前後に向け、両サイドを出入口に向けて折りたたんで下さい。
その際に収納バッグの幅に合わせて、折り幅を調整して下さい。
同様の幅にたたんだフライシートとフレーム収納袋を乗せ、片方の出入口から空気を排出しながら、ゆっくり巻き込んで下さい。